



観・錬・恕

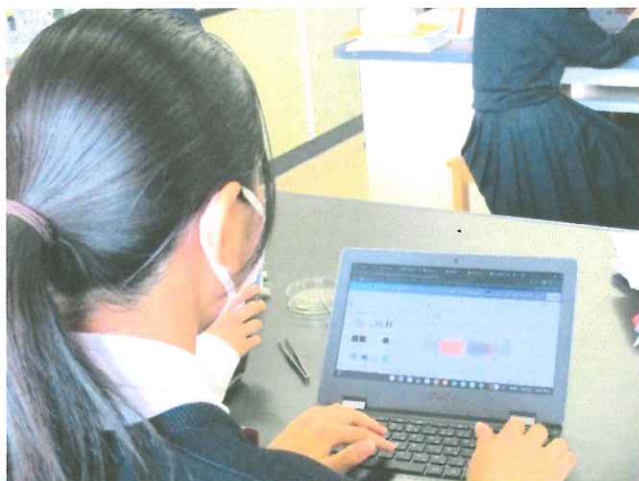
塩尻市立塩尻西部中学校
学校だより

令和7年5月20日 発行
＜文責 教頭 両角 穂＞



リーディングDX校としての1年目の取組

今年度、本校を中心に塩尻西部中学校区の洗馬小学校、宗賀小学校が指定校に、檜川小中学校が協力校として、文部科学省主催の「リーディングDXスクール事業」に指定されました。県内では、塩尻市の他、小川村、喬木村の3校が指定を受けました。この事業は、「ICT機器を効果的に活用し、情報活用能力の育成等、児童生徒のさらなる学びの充実を図りながら、教職員の働き方改革にも取り組み、その事例を全国に広げていくこと」を目的とした事業です。そのスタートにあたり、5月15日（木）に、信州大学の東原先生のご指導のもと、長野県教育委員会、塩尻市教育委員会をはじめ、本事業に共に参加する3校と、その他多くの小中学校の教職員、約120名が参加し、理科、国語、社会の3教科で授業公開を行いました。授業後には、参加した職員全員が、授業についての成果や課題をICT機器を用いながら語り合いました。



これまでも、生徒たちの学びの充実に向けて、日常的に授業改善や指導の工夫に取り組んできました。今後は、ICT機器のさらに有効な活用を研究しながら、生徒たちの「やってみたい」「こうなりたい」という思いや願いを叶えられる学校や授業を目指していきます。